

## 平成30年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

## 1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人くしろ・わっと
事業名	防災のまちづくり市民ワークショップ開催事業
課題テーマ	安心して暮らせる都市
事業提案の背景	鉦路は地震、津波、火山等の災害リスクを抱えた地域であり、いつ発生してもおかしくない災害に対する十分な対策と、市民レベルでの防災リーダー養成の必要性が高まっている。
事業目的	鉦路における市民レベルの防災力向上、防災アドバイザーの養成を目的とし、実践を含めたワークショップ形式にて防災減災への理解度を高め、災害時に率先して行動する市民を増やす。昨年度に防災アドバイザー認証した方へのフォローアップとして、上級コースを設けて指導者としての活動に向け養成を行う。
事業概要	当法人職員である防災士を中心にした講師により、平成30年6月から平成31年3月までの期間に市民ワークショップを全8回、避難場所を想定した施設での避難所実践訓練を1回、市役所防災庁舎での実践的避難訓練を1回実施する。
事業展開	<p>◎第1回ワークショップ：6月16日 「どうして災害へ備えなければならないのか」</p> <p>◎第2回ワークショップ：7月21日 「地域安心マップを作ろう(夏編)」</p> <p>◎実践的避難訓練実施：7月28日 防災庁舎内避難体験、ペットとの同行避難周知</p> <p>◎第3回ワークショップ：9月15日 [上級]「災害対策タイムラインという備え」 [初級]「確実な避難のために(DIG実習)」</p> <p>◎第4回ワークショップ：10月20日 [上級]「D○はぐリーダー講座」 [初級]「避難所で起きる事を知ろう(D○はぐ実習)」</p> <p>◎第5回ワークショップ：11月17日 「地域安心マップを作ろう(冬編)」</p> <p>◎第6回ワークショップ：12月15日 [上級]「あんしん住宅診断アドバイザー講習」 [初級]「我が家をあんしん住宅にしよう」</p> <p>◎避難所運営実践体験：1月19日 避難場所類似の施設を使って運営体験を行う</p> <p>◎第7回ワークショップ：2月16日 「共助、って何をすればいいの？」</p> <p>◎第8回ワークショップ：3月16日 「災害へ立ち向かう備え」</p>

<p>成果目標の達成状況</p>	<p>①市民の日常的な防災・減災に対する備え・意識が高まった。          ②防災アドバイザーを今年度新たに9名養成(通算19名)し、地域における防災力向上を支援する体制が強化された。          ③図上訓練および実設訓練を通じて避難行動や避難生活をイメージして、万が一の際への対応力を高めることにつながった。          ④地域で警戒すべき個所を市民が理解し、対策を考えることが出来るノウハウを学んだ。</p>
<p>波及効果の達成状況</p>	<p>①防災アドバイザーとなった市民が複数輩出され、地域や職場で防災減災を考え行動できるようになった。          ②災害を恐れるだけでなく正しく理解することで、地域を守り助け合う意識が高まり、安心して暮らせる都市を目指す趣旨に近づいた。</p>
<p>実施体制</p>	<p>当法人内に理事者・職員で構成する「防災ワークショップ委員会」を設け、ワークショップ並びに各訓練の運営に当たった。</p>
<p>連携した市担当課</p>	<p>有 ( 総務部 防災危機管理課 )</p>
<p>連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)</p>	<p>防災庁舎内避難体験や避難所運営体験の実施における協働体制、および市民ワークショップへの参加呼びかけへの協力。</p>

## 2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	200,000	
自主財源	17,597	
合 計	217,597	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	142,365	封筒、大判ロール紙、コピー紙他
役務費	65,232	広告費、振込手数料
使用料・賃借料	10,000	会場使用料
小 計	217,597	
対象外経費		
小 計		
合 計	217,597	